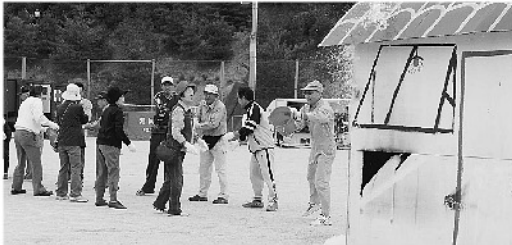


Q 渡議員 町内の防災体制について問う。

A 各機関と連携し対応できるよう準備を行っていく。(平本町長)



●10/31に町民グラウンドで行われた総合防災訓練の様子

Q 熊野町では、昭和20年9月17・18日の枕崎台風の時に、多くの川が氾濫して被害が大きかったと聞いている。

9月は台風シーズンでもあり、「災害は忘れた頃にやってくる」とも言われる。町はどのような災害対策をしているか。

A 防災計画については地域防災計画、熊野町水

防計画を策定し、必要な対策を定めている。もしも災害が発生した場合には迅速な対応が必要となることから、総合防災訓練を実施し、防災関係機関との緊密な連携と相互協力の確立を図り、また住民の方々にもどのような行動を取るべきかを学んでいただきたいと考えている。

Q 福垣内議員 介護・医療費等削減のためにも「介護予防」の積極的な推進を。

A 各サービスに積極的に取組んでいく。(平町民生部長)

Q 今年7月30日、厚生労働省の社会保障審議会は、介護保険制度の見直しに向けた具体的な内容を取りまとめた。改正は、要支援と要介護1のサービス利用が本人の状態改善につながっていないとの指摘から、2006年度以降に介護サービス給付費を大幅に削減し「新予防給付」を創設するようになった。

すなわち、介護を受けなくて済む身体を作る「介護予防」を徹底するということである。高齢化の進む熊野町は、独自にいち早く本格的に取組む準備をするべきではないか。

A 介護予防への取り組みについては「健康寿命」の延伸を図るとともに地域の活力を維持向上させるための取り組みであり、町政の重要な課題である。このため町独自の施策として生きがい活動支援事業やミニ・デイホーム事業等を実施し、ひとり暮らし高齢者等に対して心身機能の維持向上や社会的孤立感の解消を目的としたサービスを行っている。また、住民基本健康診査やガン検診等の受診率を高めていくなど、健康づくり対策についても推進していきたい。



●ミニ・デイホームでの介護予防を実施していく